

人類を深く愛し、救い主、み子イエス・キリストをこの世に遣わされた全能の神よ、み子はわたしたちと同じ肉体を取り、己を低くして死に至るまであなたに従われました。どうかわたしたちに恵みを与えて、み子の苦しみの模範に従わせ、またそのよみがえりにあずからせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



号外 141
発行日 2023年 4月2日

今週の聖書 マタイによる福音書 27:1-54

26 そこで、ピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打つてから、十字架につけるために引き渡した。27 それから、総督の兵士たちは、イエスを総督官邸に連れて行き、部隊の全員をイエスの周りに集めた。28 そして、イエスの着ている物を剥ぎ取り、深紅の外套を着せ、29 茨で冠を編んで頭に載せ、右手に葦の棒を持たせて、その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言いつて、侮辱した。30 また、唾を吐きかけ、葦の棒を取り上げて頭を叩いた。31 このようにイエスを侮辱したあげく、外套を脱がせて元の服を着せ、十字架につけるために引いて行った。32 兵士たちは出て行くと、シモンという名前のキレネ人に出会ったので、この人を徴用し、イエスの十字架を担がせた。33 そして、ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、34 胆汁を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲むとされなかった。35 彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその衣を分け合い、36 そこに座って見張りをしていた。37 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。38 同時に、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられた。39 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスを罵って、40 言った。「神殿を壊し、三日で建てた者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」41 同じように、祭司長たちも律法学者たちや長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。42 「他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。43 彼は神に頼ってきた。お望みならば、神が今、救ってくださるように。『私は神の子だ』と言っていたのだから。」44 一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じようにイエスを罵った。45 さて、昼の十二時から全地は暗くなり、三時に及んだ。46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てに



聖書からのメッセージ 『イエス様の苦難』 司祭 池 星照
イエス様は私たちが人間が持っている罪のために死を選ばれました。イエス様は神としてというよりは、人としてこの大変な苦難を受けたのです。そしてあまりにもひどい侮辱と暴力が繰り返されます。イエス様を愛していると告白した人々もすべて逃げてしまいました。特に弟子のペトロは、イエス様から「あなたは私を愛しているか」と3度も聞かれた時「はい、主よ、愛しています」と答えたのに、ペトロはイエス様のことを3度も「そんな人は知らない」と言いながら逃げてしまいました。イエス様の十字架のそばには何人かの女たちがいるだけです。このように愛している人々すべてから捨てられ、徹底的な苦痛を受けました。精神的な苦痛だけでなく、肉体に与えられる苦痛は死に至るだけです。今日はイエス様の痛みを共に感じましょう。私たちのために受け入れた苦難だからです。

なったのですか」という意味である。47 そこに立っていた何人かが、これを聞いて、「この人はエリヤを呼んでいる」と言った。48 するとすぐ、そのうちの一人が走り寄り、海綿を取って酢を含ませ、葦の棒に付けて、イエスに飲ませた。49 ほかの人々は、「待て、エリヤが彼を救いに来るかどうか、見てみよう」と言った。50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。51 その時、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、52 墓が開いて、眠りに就いていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人に現れた。54 百人隊長や一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、「まことに、この人は神の子だった」と言った。